

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月9日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 大谷工業

 コード番号 5939 URL <http://www.otanikogyo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 芝崎 安宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー

(氏名) 阿部 昇

TEL 03-3494-3731

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,198	7.0	56	24.4	71	26.4	35	50.7
23年3月期第1四半期	1,119	△8.3	45	△23.5	56	△10.1	23	△58.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.05	—
23年3月期第1四半期	2.69	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第1四半期	4,236		1,477		34.9	
23年3月期	4,209		1,467		34.9	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,477百万円 23年3月期 1,467百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	2.50	2.50

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,630	8.6	140	6.0	150	△1.8	100	28.8	11.37
通期	5,430	△3.1	250	△26.8	285	△25.1	180	△7.1	20.47

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	8,800,000 株	23年3月期	8,800,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	5,608 株	23年3月期	5,608 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	8,794,392 株	23年3月期1Q	8,795,390 株
----------	-------------	----------	-------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9
5. 補足情報 .....	9
(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、アジア新興国の経済成長や景気対策実施を背景として緩やかな回復基調にありましたが、欧州を中心とする金融不安、円高や資源価格の高騰に加えて、昨年度に発生した東日本大震災は当期の経営環境にも大きな影響を及ぼしており、先行きの不透明感が一層強まっております。主要販売先の電力通信業界ともに設備投資の見直しが行われ、市場環境は厳しさを増しております。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めた結果当第1四半期累計期間の売上高は1,198百万円と前年同四半期比78百万円(7.0%)の増加となりました。

利益面につきましては、売上総利益が265百万円と前年同四半期比12百万円(4.9%)の増加、営業利益は56百万円と前年同四半期比11百万円(24.4%)の増加、経常利益は71百万円と前年同四半期比15百万円(26.4%)の増加、四半期純利益は35百万円と前年同四半期比11百万円(50.7%)の増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上・利益ともに増加しました。

その内訳として架線金物では、電力業界において一部震災の復旧需要はあったものの、工事が延期される傾向にあり前年同四半期並となりました。また、通信業界においては地デジ関連資材の需要があり売上を伸ばしました。

一方、鉄塔・鉄構については、工事関係が夏以降に予定されており当期の売上・利益ともに減少しました。

この結果、売上高は963百万円と前年同四半期比49百万円(5.5%)の増加、セグメント利益は134百万円と前年同四半期比14百万円(12.0%)の増加となりました。

#### ② 建材部門

建材部門においては、国内建設市場の設備投資抑制傾向が続いており、工事量が落ち込んでおります。その一方で、鋼材価格は値上がり傾向にあるなど厳しい状況にあります。こうした中、当社においては大型物件の施工が進んだことにより売上を伸ばしましたが、利益につきましては激しい価格競争により粗利率は低下しました。

この結果、売上高は235百万円と前年同四半期比28百万円(13.8%)の増加となりましたが、セグメント利益は4百万円と前年同四半期比2百万円(△31.8%)の減少となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ27百万円増加し4,236百万円となりました。これは、主に在庫の増加239百万円及び現金・預金の増加87百万円と、売上債権の回収による減少300百万円によるものです。

#### (負債)

負債は、前事業年度末に比べ17百万円増加し2,758百万円となりました。これは、主に未払費用の増加60百万円及び仕入債務の増加19百万円と、未払法人税等の減少52百万円によるものです。なお、借入金は500百万円で変動はありません。

#### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ9百万円増加し1,477百万円となりました。これは、四半期純利益を35百万円計上したことによる増加と配当金支払による減少26百万円によるものです。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.3倍と良好な水準にあります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年5月17日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	660,724	747,978
受取手形及び売掛金	1,422,714	1,121,780
商品及び製品	339,106	433,742
仕掛品	289,236	369,772
原材料及び貯蔵品	129,168	193,989
繰延税金資産	72,712	92,233
その他	13,720	15,126
貸倒引当金	△428	—
流動資産合計	2,926,955	2,974,623
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	201,132	197,948
機械及び装置(純額)	293,356	288,514
土地	516,685	516,685
リース資産(純額)	46,732	41,955
その他(純額)	50,352	43,578
有形固定資産合計	1,108,259	1,088,683
無形固定資産	12,573	12,197
投資その他の資産		
投資有価証券	96,032	90,294
その他	79,819	85,816
貸倒引当金	△14,441	△15,238
投資その他の資産合計	161,409	160,872
固定資産合計	1,282,242	1,261,753
資産合計	4,209,197	4,236,376

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,217,273	1,237,004
短期借入金	500,000	500,000
未払費用	187,598	248,029
未払法人税等	104,365	52,164
その他	141,209	145,606
流動負債合計	2,150,446	2,182,804
固定負債		
退職給付引当金	430,763	432,786
役員退職慰労引当金	58,832	60,344
リース債務	28,204	23,762
その他	73,173	58,914
固定負債合計	590,972	575,806
負債合計	2,741,418	2,758,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	593,426	602,646
自己株式	△1,045	△1,045
株主資本合計	1,469,552	1,478,772
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,773	△1,007
評価・換算差額等合計	△1,773	△1,007
純資産合計	1,467,778	1,477,765
負債純資産合計	4,209,197	4,236,376

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,119,749	1,198,068
売上原価	866,830	932,735
売上総利益	252,919	265,332
販売費及び一般管理費	207,316	208,589
営業利益	45,602	56,743
営業外収益		
受取利息	91	85
受取配当金	2,927	2,023
作業くず売却益	7,113	12,471
不動産賃貸料	1,950	1,950
雑収入	2,845	1,946
営業外収益合計	14,928	18,477
営業外費用		
支払利息	3,562	2,650
雑損失	200	800
営業外費用合計	3,762	3,451
経常利益	56,768	71,770
特別利益		
貸倒引当金戻入額	55	—
特別利益合計	55	—
特別損失		
固定資産除売却損	—	471
投資有価証券評価損	—	7,969
環境対策費	2,844	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,975	—
特別損失合計	8,819	8,440
税引前四半期純利益	48,004	63,329
法人税、住民税及び事業税	52,019	50,275
法人税等調整額	△27,636	△22,548
法人税等合計	24,382	27,726
四半期純利益	23,622	35,603



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	48,004	63,329
減価償却費	34,189	34,505
貸倒引当金の増減額(△は減少)	144	368
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,158	2,023
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,512	1,512
受取利息及び受取配当金	△3,019	△2,109
支払利息	3,562	2,650
有形固定資産除売却損益(△は益)	—	471
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,969
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,975	—
売上債権の増減額(△は増加)	184,318	300,934
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,182	△239,993
仕入債務の増減額(△は減少)	38,032	19,731
その他	60,988	34,102
小計	289,683	225,494
利息及び配当金の受取額	3,020	2,109
利息の支払額	△3,585	△2,653
法人税等の支払額	△44,537	△101,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	244,580	123,747
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△30,776	△9,300
投資有価証券の取得による支出	△1,676	△1,465
貸付金の回収による収入	—	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,452	△10,465
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△18,173	△21,236
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,248	△4,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,422	△26,028
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	187,705	87,253
現金及び現金同等物の期首残高	422,201	660,724
現金及び現金同等物の四半期末残高	609,907	747,978

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第1四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	913,219	206,530	1,119,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	913,219	206,530	1,119,749
セグメント利益	120,223	7,195	127,419

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	127,419
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△81,816
四半期損益計算書の営業利益	45,602

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	963,025	235,042	1,198,068
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	963,025	235,042	1,198,068
セグメント利益	134,663	4,904	139,568

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	139,568
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△82,825
四半期損益計算書の営業利益	56,743

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象  
該当事項はありません。

## 5. 補足情報

(1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

### セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び 品目	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	増 減		
			金 額	率 (%)	
電力通信部門	架線金物	787,882	677,228	110,654	16.3
	鉄塔・鉄構	171,694	228,226	△56,531	△24.8
	その他	3,448	7,764	△4,316	△55.6
	計	963,025	913,219	49,806	5.5
建材部門	スタッド	235,042	205,869	29,173	14.2
	その他	—	661	△661	△100.0
	計	235,042	206,530	28,511	13.8
合 計	1,198,068	1,119,749	78,318	7.0	

### セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び 品目	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	
			電力通信部門
	鉄塔・鉄構	450,916	357,792
	その他	4,362	8,443
	計	1,186,731	1,052,096
建材部門	スタッド	208,416	399,253
	その他	—	661
	計	208,416	399,915
合 計	1,395,147	1,452,012	

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

### セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び 品目	当第1四半期会計期間末 (平成23年6月30日現在)	前第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日現在)	
			電力通信部門
	鉄塔・鉄構	449,501	337,370
	その他	914	1,946
	計	558,395	487,923
建材部門	スタッド	487,164	405,824
	その他	—	—
	計	487,164	405,824
合 計	1,045,559	893,748	

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。